

---

# もんぺあ！

土方 真吾

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

もんぺあ！

### 【Nコード】

N3543Z

### 【作者名】

土方 真吾

### 【あらすじ】

昨今の教育現場において問題視されている三つの出来事！

一つ！ ゆとり教育による学力問題。

二つ！ 様々な信頼関係の問題による学級崩壊。

三つ！ 陰湿ないじめ問題。

そして最後にもう一つ！ 自己中心的で理不尽な要求をする親、モンスターペアレント！

略して、もんぺあ！



## 自己紹介

みなさん、おはようございます。

先ずは、残念なお知らせがあります。

今までこの五年三組の担任をなさっていた先生が、おうちの事情で急遽長期のお休みをいただく事になりました。

そこで、今日からこの僕、「浪野なみの 檜人かいと」が担任代行としてみなさんと一緒に勉強して行く事になりました。

色々不安な事もあるかと思いますが、一生懸命頑張って行こうと思います。

いいですか？ 先生はみんなの友達です。味方です。何かあったらすぐ相談してくださいね！

それでは、今日のHRは

【浪野檜人教諭の着任挨拶より抜粋】

## case 1 岩井砂緒の場合

「聞いてるんですか先生っ!!」

ズドンッ!

大きな拳が机に叩き付けられる。

子供用の机はひとたまりもなく一撃でドグシャアっとぺったんこになった。

岩野さんはガテン系の仕事だけあって物凄いパワーを持っている。

「ええ。ええ、勿論ですよ。砂緒さんがいじめを受けているってのは、確かに由々しい問題だと思います、はい」

とつさに避難させたノートパソコンやその他もろもろを教卓の方に移動させながら答えたが、彼はどうやらそんな態度もお気に召さなかったらしい。

「だったら、なんでそんなに落ち着いてるんですか!? 私たちはね、身を粉にするようにして働いてこの子を育ててきたんだ! そんな私達の宝である娘がいじめにあっていると云うのに、コレが黙っていられますかっ!!」

「よしなさい、かあさん……」

「あなた……」

左端に座って叫んでいた岩井さんを、右端に座っていた岩井さんが止める。なるほどよし、左が奥さんなら真ん中が砂緒ちゃんだな。やっと分かった。

「先生。確かに私らにも問題はあるんでしょうよ。けどね、身を粉

にするようにして働いて育ててきた娘がですよ

「粉って、何処も磨り減ってねえよ。あんたら真四角じゃん。しゃーぷでエッジが効いてるじゃん。」

「そんな可愛い娘が男か女かも分からない立方体だの、成長期の来ないまつ平ら石版おっぱいなんぞと陰口を叩かれてたら、そりゃあ俺達も黙っちゃ居られませんかよ。見てくださいよ先生。あんたも男なら分かるでしょうよ？」 砂緒の奴、最近は微妙なカーブが

「もう、お父さんっ！」

真ん中の砂緒ちゃんが父親の腕をガゴスつと殴る。

微妙なカーブなんてわからねーよ、あんたら全員全身直線じゃん。全盛期の伊良部並みのストレートだよコノヤロウ。

目の前の三人の親子を見比べる。

三人そろって同じサイズ、同じ形、同じ声質である。いくら眺めても、声を聞いても、口調以外の差は見つからない。

そりゃそつだ。

だって岩井家は由緒正しいストーンゴーレムの一族なのだから。

過去。

都合三度の勇者と魔王の戦争があった。まさに世界大戦と呼ぶにふさわしい激戦であったと言う。

1999年7月に起きた第三次勇魔大戦を人間サイドの勝利で乗り越えた現在、人間領は友好的な魔物との共生状態に突入していた。

そう。必然的に教育も人魔同一のレベルを目指すこととなり、我が魔法技術学園小等部五年三組では魔族の子供たちを集めて教育しているのだ。

その教育が成功しているかどうかは、うちのクラスが五年三組魔物組なんぞと揶揄されている事からお察しいただきたい。

ぶっちゃけ、魔族にとっては人間領は差別が多くあまり暮らしやすいとは言えない状況である。今回の岩井砂緒のケースもそんな問題の中の一つに過ぎない。

「分かりました岩井さん。僕にアイデアがあります」

「ほう、それはどんな？」

「人間には砂緒さんの魅力は分かりにくいですからね。こうすればいいんですよ」

何かの拍子で教卓に仕舞いっぱなしのアレがあったはず。

「ごそごそと錠とそれを取り出して、適度な長さにチョコキン。きゅつと縛って適度な形に整える。」

「砂緒ちゃん、少し頭を下げられるかな？」

三人して取り囲むなよちくしょう。圧迫感凄いし、誰が誰だかわからねーっつの。

壁が倒れ掛かってくるようでちよいと腰が引けたが、下がってきた頭に接着剤でそれをぺたりと貼り付けた。

「あ、可愛い……」

「ほう、こりやなかなか似合うな、砂緒！」

「良かったわね、砂緒」

まあ、これではつと見はOKのはず。

ストーンゴーレムにリボンって言うのも多少シニールではあるが、ご本人達がいいのならそれでいいではないかH A H A H A H A H ……

「やあ、さすが先生！ ナイスアイデア！！」

はつと我に帰った時にはもう手遅れだった。

岩井さんに悪意がないのは勿論分かっている。たぶん、身内にやるのと同じ感覚で背中をばしっと叩いて労おうとしたのだろう。しかし、3 m近い石の塊に背中をどやしつけられたらただの人間である僕にはどうしようもなかった。

「ウボア」

とか妙な音を残し、そのまま水平に吹き飛ばされて教室の後ろの壁に張り付いた。体中でボキボキと聞こえてはいけない音がした。

「先生すまねえっ！」

「せんせーっ!?!」

「あなた、救急車をつ！」

薄れ行く意識の中、前任者はどうやってこんな怪物モンスターペアレントの親を相手取って特にトラブルも起こさずに居たのかと思った。

まあ、どうでもいいか……

運びこまれた病院でも魔族の看護婦が居てちよつとしたトラブル

になったりもしたのだが、白十字神殿教会から治療術に長けたシスターがやってきて、僕は三日ほど休んだだけで職場へと復帰できた。非常に残念な事に、砂緒ちゃんは転校してしまっていた。お父さんに人間を傷つけた前科があったようで魔王領へと追放されることになり、それに家族揃って付いて行くのだそうだ。

ふと見上げた空に、リボンをつけた砂緒ちゃんの嬉しそうな笑顔が浮かび上がって、消えた。

(<http://4624.mitemin.net/i3703>  
3 / 砂緒ちゃん参考画像)

「……僕、別に悪くないよな？」

これは、ただの人間でありながら魔族の担当にされて七転八倒する浪野檜人の物語である。

case 2 夜羽美果の場合。 その1 (前書き)

みなさんこんにちは。 浪野檜人です。

今も昔も乙女の悩みと言つものはあまり変わらないようですね。  
恋の悩み。

そして、ダイエット。

僕なんかは少しぐらいふっくらしている女性に魅力を感じる方なのですが。

今日は、そんなダイエットブームが引き起こした悲劇についてお話ししようと思います。

## case 2 夜羽美果の場合。 その1

それは、帰りの会が終わった時の事だった。

クラス委員の号令にあわせ、起立、礼、着席。がたんつと椅子ごとひっくり返る生徒が一人。黄色い悲鳴と、喧騒が教室を包みこむ。

「おい、夜羽<sup>よわ</sup>。どうした、大丈夫か？」

「せんせー。美果<sup>みか</sup>ちゃんは大イエットしてて、お昼とかも食べてないんです。私、女の子はきちんとお肉がついてた方が良かったっていつも言ってるのに……」

あわてて駆け寄ると、夜羽と仲の良い生徒がかちや<sup>かちや</sup>かちやと頬に手を当てながら、心配そうな声で教えてくれる。

スケルトンのお前が言々と説得力パネエな。

「なるほど貧血か。よし。夜羽は保健室に連れていくから、あとは先生に任せてみんな帰って良いぞ。明日も忘れ物するなよ」

僕は夜羽を抱き上げて保健室へと運ぶ。

保険の先生はなにやら会議があるとかで留守だった。僕は夜羽をベッドに寝かしつけ容態を見たが、どうやら本当にただの貧血のよう<sup>よう</sup>で危険そうな兆候はない。

まあ、おやつでも食べさせれば家に帰れるぐらいには回復するだろう。そういえばチョコバーが机の中にあっただなと思い出して職員室へと戻り、「1本満足バー シリアルホワイト」を手に保健室へ戻る。コーンフレークと小麦パフの軽い食感と、ホワイトチョコレートがたっぷりコーティングされたミルクィな味わい。苺・カシス・クランベリー・レーズンもぎっしり入っていて、僕のお気に入り。

一品だ。

「夜羽、目が覚めたのか？」

保健室へはいると、夜羽はベッドの上で上半身を起こして俯いていた。まだ本調子ではなさそうだ。僕は片手のチョコバーをぶらぶらと振って見せる。

「ほら、おやつやるよ。ちゃんとご飯食べないからだぞ？ 大体、

夜羽はスタイルが良いのに無理してダイエットなんて

」

「おやつ？」

どこか茫洋とした声が響く。

「う、うん。一本満足バーって言うんだ。ホワイトチョコが甘くて美味しいぞ？」

「うん、たべる。せんせーの一本満足バー……」

「エ？」

顔を上げた夜羽の瞳がカツと赤い光を放つ。その背中から蝙蝠の翼が広がり、先端がハート型に尖った尻尾がくねりながら伸びた。

ああ、そういえば……

ドアが、窓が、カーテンが、夜羽の魔法で勝手に閉まり、保健室が薄闇に包まれる。

「いただきまーす……」

夜羽の美しく整った顔が僕に迫る。そして

「ああ、ホワイトチョコ美味しかったあ。ありがとう、せんせい」  
「そりゃよかったですね……」

満足そうな笑顔で伸びをする夜羽の横で、僕はめそめそと泣き濡れていた。

「だいじょぶだよ、せんせい。初めてならしよーがないって」  
「そういう意味で泣いてるんじゃないやありません！」

小悪魔のように笑う夜羽<sup>やわみか</sup>美果。彼女は母子家庭で姉と母との三人暮らしであり、淫魔の一族である。

つまり、彼女にとってのご飯とは……

いや、もう深く考えるのはよそう。  
みなさんも、無理なダイエットは控えてくださいね。理性を失ってご飯に襲い掛かるような事にならないとも限りません。

……僕は悪くないよな？（泣）

case 2 夜羽美果の場合。その1（後書き）

【設定に関するお話】

この世界において、魔族は迫害されています。

学生であっても、一定のモラルが備わっていると判断されないと進級すら出来ません。

美果ちゃんも、見た目はアレですが実年齢は18才以上です。

そのため浪野さんは都条例でしょっ引かれるような事はありません。

ないったらないんです。

でもア×ネスに通報したりはしないでくださいね。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3543z/>

---

もんぺあ！

2011年12月13日03時45分発行